

あなたと家族の命と暮らしを守るために、

すすめよう災害に強い国づくり

きょうじんか

～国土強靱化とは～



内閣官房 国土強靱化推進室

日本で起きる災害の例

私たちの暮らす日本は多くの災害リスクを抱えています。

日本ではどんな災害が起きる？

地震

震度5以上の地震

18.6 回/年間※1

風水害

1時間に50ミリ以上の雨

334 回/年間※2

火山噴火

活火山※3の数

111



こんなことが起きるなんて怖いな。でも、どうしたら防げるんだろう…

災害が起きるとどうなる？

地震・津波・火災・家屋倒壊で
たくさんの方が亡くなる



大雨・台風・土砂崩れなどで
家屋が使えなくなる



電気や水、食料などの供給が止まり
生活できなくなる



農地や企業がダメージを受け
国土が荒廃したり国際競争力が低下する



※1：気象庁 令和2年12月地震・火山月報（防災編）より過去10年間（2011年～2020年）の最大震度別の月別地震回数

※2：気象庁 大雨や猛暑など（極端現象）のこれまでの変化 | 全国（アメダス）の1時間降水量50mm以上の年間発生回数より最近10年間（2011年～2020年）の平均年間発生回数

※3：気象庁 活火山とは | 「活火山」の定義と活火山数の変遷より

02 災害に強い国づくり（国土強靱化）とは

国土強靱化とは、地震や津波、台風などの自然災害に強い国づくり・地域づくりを目指す取組のことです。

強靱化しないと…

被害が大きい



なかなか回復しない



強靱化すると…

被害が少なくて済む



すみやかに回復する



災害が
起きた
とき

復興
するとき



事前に対策しておくで、被害を抑えられるだけでなく、復興するのも早いんだね！

国土強靱化はとても幅広い概念です。

行政だけでなく企業・地域・個人での取組や、ハード面だけでなくソフト面の取組も国土強靱化に含まれます。



国土強靱化は行政が行うことだと思っていたけど、
個人の取組やソフト面での取組も国土強靱化に含まれるんですね。

地域の人々が協力して国土強靱化を行った事例を見てみましょう。

防災おやこ手帳

(岡山県倉敷市真備町川辺)

西日本豪雨災害で甚大な被害を受けた地域の住民が中心となって発足した「川辺復興プロジェクトあるく」では、“子どもたちに怖い思いをさせたくない”、“誰にも失う辛さを経験させたくない”という思いから、「防災おやこ手帳」を制作しました。

①川辺地区発祥の分散避難「**マイ避難先**」、②避難行動のタイミング「**避難スイッチ**」、③何を持っていく？「**持ち出しグッズ**」など、これだけは知っておいてほしいことをわかりやすく掲載しています。



※<https://aruku2018.org/oyako-notebook/>

「札幌時計台ビル」地区防災計画策定

(札幌市中央区)

FMラジオ放送局や飲食店、保育園が入居する「札幌時計台ビル」では、テナント従業員が**災害時にビル内に3日間滞在できる**よう、充電スペースの設置や休憩所、物資の支援、情報提供などを行っています。



また、各テナントが集結し、保育園児の安全を守る「**保育園対応チーム**」を立ち上げています。

このような取組を通じて、**災害時の自助・共助の意識を高めています。**

子どもと一緒に、もしもの時のことを考えて準備するいいきっかけになるね！



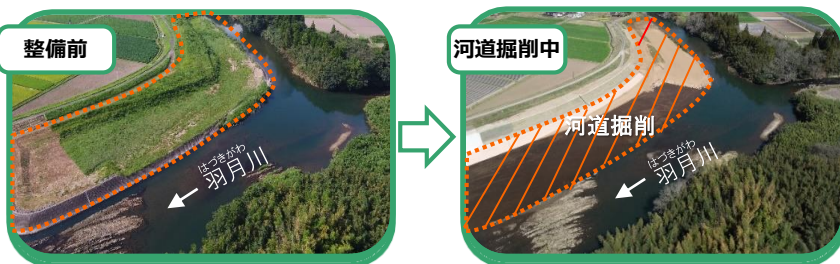
地震を経験したことや、園児の安全を守る意識がきっかけになり、災害への備えが進んだだね

国や自治体が国土強靱化を行った事例を見てみましょう。

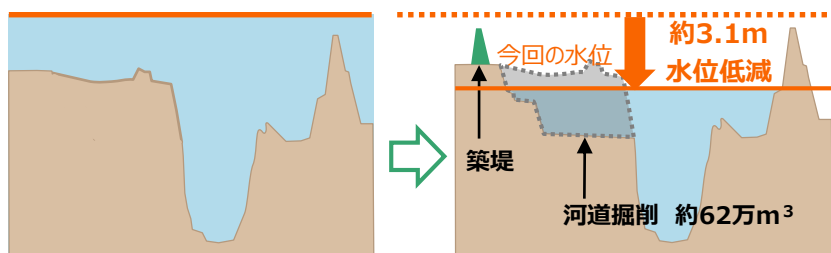
堤防の整備等による浸水被害の軽減

(鹿児島県伊佐市、さつま町等)

堤防の整備や河川を掘削したことで令和3年7月1日からの大雨の際、**水位を約3.1m低減**することができました。結果として川内川本川から水があふれることはなく、**浸水被害を軽減**できました。



河川改修を実施しなかった場合の水位※



※H18以前の河道断面を用いて今回出水量時の水位を推算

川があふれなくなったね、良かった！



耐震補強による学校施設の安全性の確保

(福岡県筑後市)

地震により倒れる危険性が高い**体育館の耐震化**を行いました。これにより、学校施設の安全性を確保することができました。災害時には**避難所として活用**することが可能です。

耐震補強工事前



耐震補強工事後

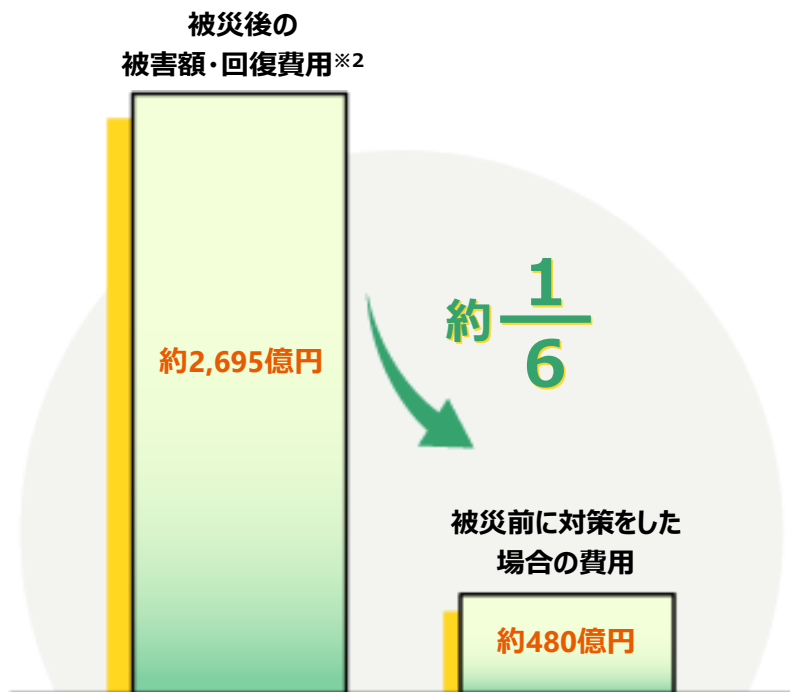


子供たちを安心して学校へ通わせられるね！

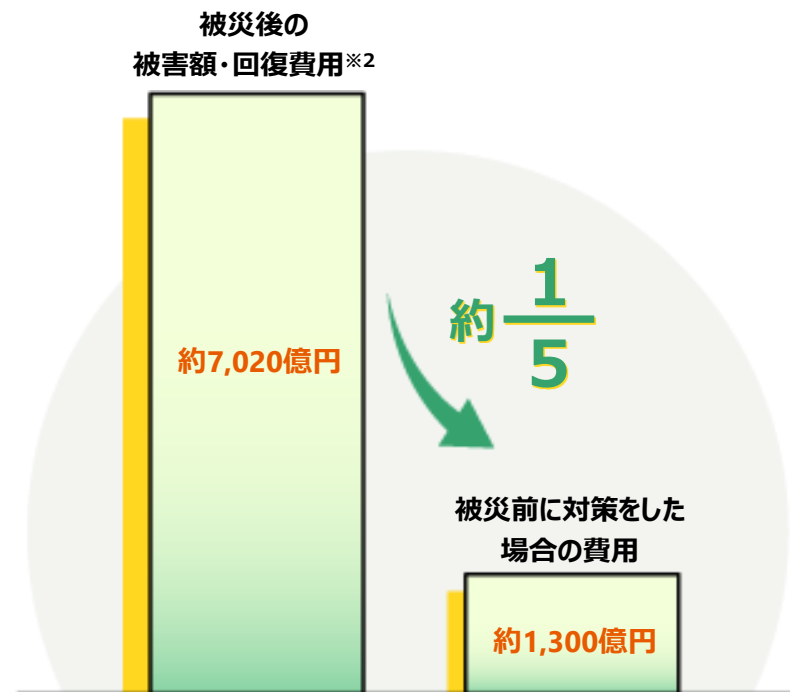


国土強靱化の取組を行うことでどれくらいの効果があるのか見てみましょう。

事例① 平成30年7月豪雨での高梁川水系小田川の例※1



事例② 令和元年東日本台風での阿武隈川の例※1



※1 国土交通省水管理・国土保全局作成資料を基に、内閣官房国土強靱化推進室が作成

※2 一般被害額、被災者・被災地支援、災害廃棄物の処理費等、現状回復費



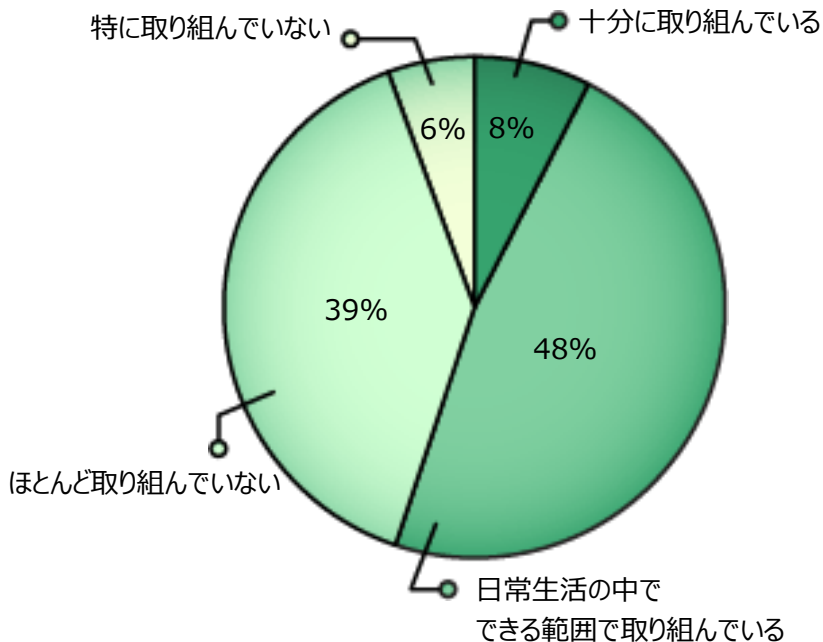
事前にきちんと対策をしておくと、被害が抑えられるだけでなく、費用も安く済むんですね！

みんなはどれくらい国土強靱化の取組を始めている？

他の人たちがどのくらい国土強靱化の取組をしているのか、アンケートの結果を見てみましょう。

みんなはどのくらい災害への備えをしている？

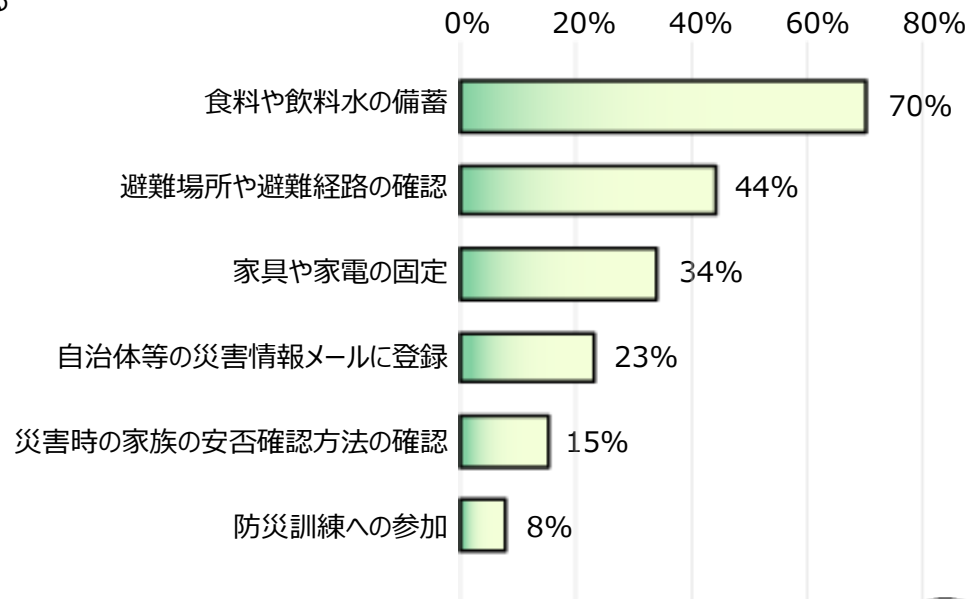
災害への備えに関する取組状況※



十分に取組んでいる人は10人に1人もいないですね。

具体的にどんなことをしている？

災害への備えの具体的な内容※



様々な備えが必要なんですね！

※令和3年実施 国土強靱化の広報・普及啓発に関するアンケート調査結果より一部抜粋

調査期間：2021年11月9日～2021年11月11日

調査方法：Webアンケート

有効回答件数：1048件

具体的に何から始めたらいいの？

あまり難しく考えずに、まずはできることから始めてみましょう！

チェック

行動

調べる

- 家族や友人と災害対策を話し合う
- 家、職場や学校のある地域で起きる災害を調査する
- ハザードマップや避難場所を確認する
- 避難場所までの経路を確認し、実際に行ってみる



備える

- 様々な場合（就寝中・通学中・勤務中）に、災害が起きたときの対応を決めておく
- 災害時の連絡手段について家族や友人と決めておく（災害用伝言ダイヤル171の活用など）
- 災害情報メールや防災アプリの登録をする
- 防災グッズや食料備蓄（できれば1週間分）を用意する
- 感震ブレーカー設置や家具固定、耐震工事を実施しておく



協力する

- 地域の人と日ごろから挨拶や声掛けを行っておく
- 地域や会社、学校等で防災訓練に参加する
- 各種機関の災害情報をSNSなどを活用して共有する
- 自主防災組織に参加する



私たちもできることから始めてみよう！
まずは家族で災害対策について話し合ってみようかな。

みんなの命を守るために、
私たちが知っていることをみんなに教えてあげよう！

災害が起きたときにどんな被害が想定されるか、それを防ぐためにはどうしたらいいか、まずは家族や友人と話し合ってみましょう！

地震が起きるとどうなるか話し合ってみよう

倒壊



家や家具が倒壊すると、その下敷きになって閉じ込められたり、怪我をする可能性があります。

津波



津波に巻き込まれて行方不明になったり、溺れて命を落とす場合があります。

ライフラインの停止



ライフラインが停止すると生活環境が劣悪な状態となり、体調を崩しやすくなります。
また、避難生活が長期化することで精神面にも大きなストレスがかかります。

火災



電気配線の破損、暖房器具への可燃物の接触等により火災が発生します。
避難行動を妨げられたり、火災に巻き込まれて命を落とすことがあります。

他にも身の周りでどういったことが起きるか話し合ってみよう

いろいろな被害が起きるんだね。

被害を防ぐためにはどうしたらいいか話し合ってみよう

倒壊の被害を減らすには？



住んでいる家や家具は地震で倒れないかな？
耐震工事や家具の固定などを検討してみよう！

津波の被害を減らすには？



地震から何分後にどれくらいの高さの波が来るかな？
ハザードマップを見て避難場所を確認してみよう！

ライフラインの停止に備えるには？



電気や水道、ガスが止まった場合にどのようなものがあれば困らないかな？
備蓄食料や簡易トイレなど、必要なものを揃えよう！

火災の被害を減らすには？



電気配線の破損に繋がる電化製品や家具の転倒対策はできているかな？
日頃からストーブや配線周りなどの整理整頓を心がけよう！
消火器等も備えておこう！

他にもどういったことができるか話し合ってみよう

いざという時のために、日ごろから備えておくことが大事なんだね！

災害が起きたときにどんな被害が想定されるか、それを防ぐためにはどうしたらいいか、まずは家族や友人と話し合ってみましょう！

大雨・台風が来るとどうなるか話し合ってみよう

洪水・内水氾濫



河川の水量が急激に増加し、街や農地に流れ込んだり、街に降った雨が排水されず、下水があふれ出してしまう可能性があります。

土石流・地すべり・がけ崩れ



雨水と一緒に押し寄せる土砂によって、家が押し流されたり、道路や線路などの交通網に被害が出る可能性があります。

高潮



家屋が浸水したり、ライフラインが被害を受けて停止する可能性があります。また、街全体が浸水し、特に地下空間などで閉じ込められてしまう可能性があります。

暴風



強い風で飛ばされてきたものに当たり、転倒して怪我をする可能性があります。また、電線が切れて停電するケースも考えられます。

他にも身の周りでどういったことが起きるか話し合ってみよう



毎年やってくる台風や大雨でも大きな被害が出ることもあるんだね…

被害を防ぐためにはどうしたらいいか話し合ってみよう

洪水の被害を減らすには？



自分の住んでいる地域で洪水が起こる可能性はあるかな？水害ハザードマップを見て、危険な場所や避難経路を事前に確認しよう！

土砂災害の被害を減らすには？



土砂災害ハザードマップをみて、身の回りの土砂災害のおそれのある場所を確認しておこう！大雨が降った時には早めの避難を心がけよう。

高潮の被害を減らすには？



台風の接近や満潮の時刻など、気象情報に注意しよう！ハザードマップをみて避難場所を確認してみよう！

暴風の被害を減らすには？



雨戸や窓は頑丈かな？鍵がしっかりかかるかも確認しておこう！家の外に飛ばされやすいものは置いてないか、電線に引っ掛かりそうな樹木が無いかも確認しておこう！

他にもどういったことができるか話し合ってみよう

災害に備えてしっかり確認しておこう！



内閣官房から以下のような情報が提供されています。ぜひ参考にしてみてください。

- **パンフレット「国土強靱化進めよう！」、学習教材「防災まちづくり・くにづくり」**
 国土強靱化の概念についてわかりやすくまとめたパンフレットおよび学習教材です。
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/about.html
- **防災・減災、国土強靱化の効果発揮事例**
 近年の災害時に効果を発揮した事例等をまとめた資料です。
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/kouhou/koukahakkijirei.html
- **防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策による取組事例集**
 3か年緊急対策全160項目について災害時に効果を発揮した事例等をまとめた資料です。
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/kouhou/3kanenjirei.html
- **国土強靱化 民間の取組事例集（令和3年4月）**
 国土強靱化に関して先導的な取組を行う民間の事例をまとめた資料です。
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/r3_minkan/index.html



内閣官房国土強靱化推進室
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/index.html



内閣官房国土強靱化推進室
 FaceBookアカウント
 @ResilienceJPN



内閣官房国土強靱化推進室
 Twitterアカウント
 @ResilienceJPN

令和4年1月版
 TEL : 03-5253-2111
 (内線 : 33743)

あなたと家族の命とくらしを守るために、すすめよう災害に強い国づくり

災害時の避難場所

Blank area for writing evacuation locations.

家族や安否確認を取りたい人の名前と連絡先

名前 _____
電話番号 _____
メール _____
住所 _____

名前 _____
電話番号 _____
メール _____
住所 _____

災害時の家族との連絡方法

Blank area for writing contact methods.

名前 _____
電話番号 _____
メール _____
住所 _____

名前 _____
電話番号 _____
メール _____
住所 _____



印刷して、いつも持ち歩けるようにしておこう！